

# 2021年1月号 セゾン投信 月次運用レポート

## 長期投資家の皆さまへ

長期投資家の皆さま、あけましておめでとうございます。2020年の金融市場は新型コロナウイルスで激動の1年でした。春先にリーマンショック時を超える短期間で株価急落が世界中の市場を震撼させましたが、その後は主要国の大胆な金融緩和取行が債券市場で低位に金利水準を押し下げ、財政資金の果敢な投入が景気持ち直し期待を高めて、年を終えてみれば世界的な株高の1年となったわけです。殊に年の瀬に近付いてからは、ワクチン開発進展の期待が高まって、米ダウ平均株価が史上最高値を更新するなど、米国のみならず欧日先進国も上昇基調を加速させることになり、主要国の長期金利低位安定下で緩和マネーは自ずと株式市場に流れる特異な金融環境もマーケットの株買い安心感を高めているようです。

新型コロナの収束は未だ世界中で目途が立たない現状ですが、コロナ後も経済下支えのため金融緩和状況は長期化するとの見通しもあって、アフターコロナの景気急回復期待を世界の株式市場は過剰に織り込んだ状態とも言えるほど、今ある実態経済とマーケットは時間軸による乖離が甚だしくなっています。一方で、コロナ禍によって急速に進展したネット・デジタル系事業が提供する製品やサービスは生活様式と社会通念を抜本的に転換させる起爆剤となって、コロナ後も更なる進化が想定されることから、特にIT系産業で高付加価値を実際に先導して生み出している米国経済の本源的強さと、たとえば残念ながらデジタル化の遅れが顕在化している日本経済の脆弱性とで産業界の明暗が分かれる中、株式市場が世界全体に楽観的上昇を続ける流れは、やがてマーケットの自律調整機能が本源的優劣を峻別する局面が訪れた時、市場全体の過熱感とともに修正されていくことになるのでしょうか。

ところがそうした市場の大きな潮目の変化がいつ訪れるのかは予測困難であり、2021年もいざばんだ切なことは、短期的値動きに翻弄されず投資を継続させて行くことで、長期的な経済成長軌道にトレースし続けることなのです。「セゾン号」は相変わらず地球経済のメガトレンドを見据えて、泰然自若とすすんでまいります。本年も長期投資の旅をどうぞよろしく願いいたします。

代表取締役会長CEO 中野 晴啓

### ご留意事項

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。投資信託に係るリスクや費用等は、それぞれの投資信託により異なります。投資元本の保証はありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

## 委託会社:セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第349号

加入協会:一般社団法人 投資信託協会

<https://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口:03-3988-8668 営業時間 9:00~17:00(土日祝日、年末年始を除く)

# セゾン資産形成の達人ファンド

## 12月の市場動向

### 株式

新型コロナウイルスのワクチン接種が開始されたことを受けて経済活動の正常化への期待が高まって上昇

新型コロナウイルスの感染拡大が続いているものの、ワクチンの接種が開始されたことを受けて経済活動の正常化への期待が高まったほか、米国で追加の経済対策が打ち出されたことや、通商合意がない状態での英国の欧州連合（EU）離脱が回避されたことを受けて安心感が広がり上昇しました。

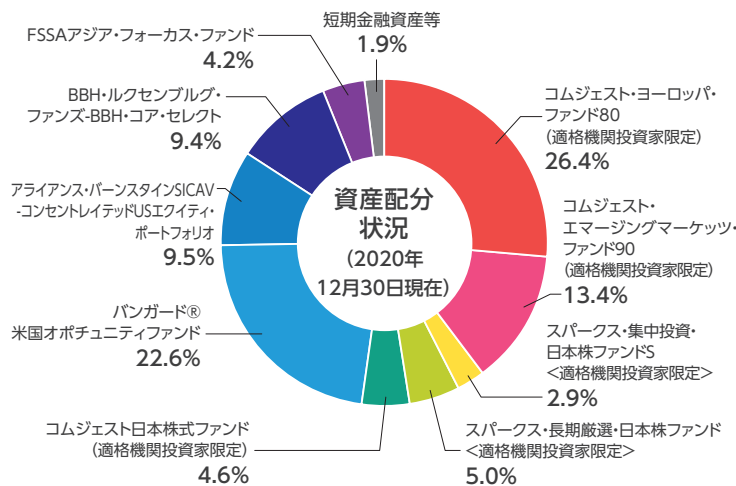
### 為替

リスク選好が強まるなかでドルが下落し、ユーロが上昇。円も軟調に推移し、対ドルで円高、対ユーロで円安

経済活動の正常化への期待などを背景にリスク選好が強まってユーロが堅調に推移する一方で安全資産としての需要が低下したドルや円は軟調な展開となり、ドルは米国で政府による追加経済対策が打ち出されて財政収支や経常収支の赤字拡大観測が高まったことを背景に円に対しても下落しました。

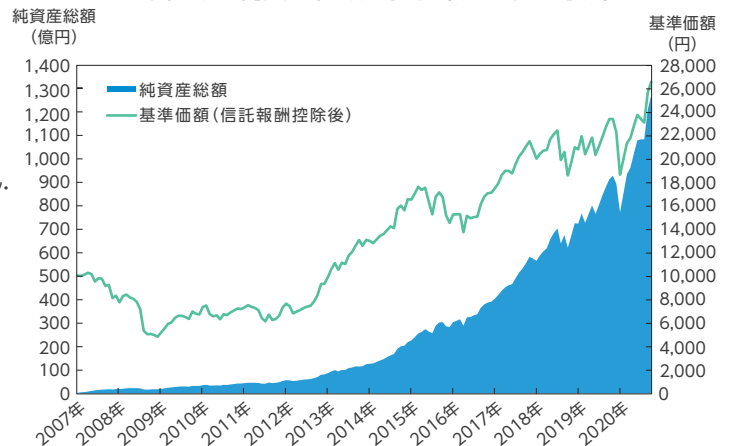
### 基準価額と純資産総額及び騰落率（2020年12月30日現在）

基準価額	純資産総額	設定来騰落率	過去1ヶ月の騰落率	過去6ヶ月の騰落率	過去1年間の騰落率
26,647円	1,274.6億円	166.47%	3.63%	21.94%	13.56%



※資産配分状況は小数点第2位を四捨五入している為、合計が100%にならない場合があります。

### 基準価額と純資産総額の推移 (設定来/月次)



## 12月の運用状況

### 今月の投資スタンス

今月は、積立などのご購入により皆さまからお預かりした資金を利用して、コムジエスト・ヨーロッパ・ファンド、BBH・コア・セレクト・ファンド、アライアンス・バーンスタイン・米国株式集中投資ファンド、FSSAアジア・フォーカス・ファンド、スパークス・集中投資・日本株ファンドへの投資を行いました。なお、現金比率は前月末からほぼ変わらず、月末時点で約1.9%です。

### ファンドマネジャーからの一言

将来の可能性は無数にあります。実際に起こることは一つだけです。複数の投資対象から一つのものを選ぶ必要がある場合、後で振り返って最も良好な成果を生み出したものを選ぶことは簡単ですが、事前に選ぶことは難しいため、分散投資はリスクを軽減するための有効な手段です。もちろん、投資対象を精査することにより将来の不確実性を減らすことは可能であり、当ファンドでは、精査により見積もった価値に対して割安なものを買入ることがリスクを軽減する最も重要な手段であると考えております。

しかし、短期的な成果は偶然に左右されることも多いため、長期的に高い成果が期待できる投資対象であっても短期的に成績が振るわないことがあり、短期的であっても成績が振るわないものへの投資を継続することは時に困難を伴います。そのため、短期的な値動きによって投資行動を変えることなく、長期的な視点で投資を継続するという点においても、適度な分散を行うことが重要であると認識しています。

当ファンドでは引き続き、幅広い地域への分散を意識して資産配分を行うと共に、投資先ファンドを通じて、安全性や長期的な収益力を基準に銘柄の選別を行い、短期的な価格の動きではなく投資対象の価値を重視して株式投資を行うことでリスクを抑えながら、皆さまの長期的な投資を通じて資産形成のお役に立てるように努めてまいります。

運用部長 瀬下 哲雄

## 基本的な投資スタンス

私共が投資対象としているファンドは、いずれも中長期的な視点で投資を行っておりますが、保有している株式が割高となった場合やより良い投資機会を発見した場合、投資先の状況に大きな変化があった場合等については銘柄の売却を行うことがあります。もちろん、どのファンドも長期投資の理念を共有しており、短期的な売買を繰り返すことはありません。

私共は各投資対象ファンドについて、各ファンドがカバーする銘柄選択の対象を幅広くすることを意識しながら目標とする地域及びファンド毎の配分比率を決定します。その上で、主にファンドの購入により配分比率の調整を行っております。もちろん、短期的な市場動向の予測に基づいて投資先ファンドの売買を行うことはございません。

当ファンドでは、各投資対象ファンドがファンダメンタル分析に基づく中長期的な視点から各銘柄への投資を行い、その上で私共が十分に国際分散を図ることができるように資産配分を行うことで、皆さまの長期的な資産形成に資するよう運用を行っております。

## 当ファンドに係るリスクについて

### ◆基準価額の変動要因

当社の運用、販売するファンド(以下、当ファンド)はファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としております。一般に、株式の価格は、個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は、市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受けます。〔「価格変動リスク」〕また、当ファンドは、実質的に外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受けます。〔「為替変動リスク」〕その他の当ファンドにおける基準価額の変動要因としては、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により投資元本を割り込むことがあります。運用による損益は、すべてお客さまに帰属します。当ファンドは預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく、一定の投資成果を保証するものではありません。

### ◆其他のご留意点

当ファンドは、預金や保険契約と異なり、預金保険機構、貯金保険機構、および保険契約者保護機構の保護対象ではありません。加えて証券会社を通じて購入していない場合には、投資者保護基金の対象となりません。投資信託の設定・運用は委託会社がおこないます。

## 当ファンドに係る費用について

### ◆投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料:ありません。
- 信託財産留保額:換金申込受付日の翌々営業日の基準価額に0.1%の率を乗じた額が控除されます。

### ◆投資者が信託財産で間接的に負担する費用

○運用管理費用:ファンドの日々の純資産総額に年0.583%(税抜0.53%)の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的にお客さまにご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年1.35%±0.2%程度(税込)となります。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券における信託報酬を加味した実質的な負担額の概算値です。各投資信託証券への投資比率、各投資信託証券の運用管理費用の料率の変更等により変動します。

○その他費用:信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用(有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む)、監査報酬(消費税含む)、立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことができません。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

## 委託会社：セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第349号  
加入協会：一般社団法人 投資信託協会

<https://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9:00~17:00 (土日祝日、年末年始を除く)